

2 社会増への転換 ～未来を担う人材の定着～



【基本目標2】

人生を楽しみながら多様な人材が互いに高め合い、新しい価値を創造できる地域を構築することにより、人口の社会増への転換に向けて、社会減を縮小します。

主な取組

成果

(1) 多様な人材の定着

○信州での多様な暮らし方、
新たな暮らし方等を国内外に発信

○ライフスタイルデザイン国際会議の
開催（H29年2月）
来場者数 500名



○定年帰農者やIターン者の就農を支援
必要な貸し付けを行った金融機関へ
利子補給（H28年度開始）

○定年帰農者やIターン者の就農への
融資実行率 100%
4件（申請4件）、計168万円を融資

○二地域居住者向けコンパクト住宅普及
に着手
宿泊体験用のコンパクト住宅を整備する
市町村への支援

○H28年度はコンパクト住宅整備する
2町村（木曽町、青木村）を支援
H29年度も2か所予定

注) コンパクト住宅
：1千万円程度で新築可能な小規模住宅



コンパクト住宅

(2) 産業イノベーションを誘発する企業・研究人材の誘致

- 全国トップレベルの減税制度等の実施により本社・研究所等の企業誘致を推進

県税(不動産取得税等) **95%減税**
【減税率日本一】

- 「プロフェッショナル人材戦略拠点」による専門人材の誘致 (H27年11月～)
企業の経営革新の実現を図るため、県内企業の求人ニーズと県内外の専門人材のマッチングを支援

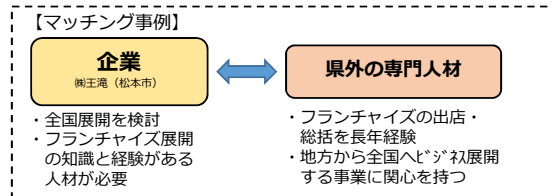
- 研究所の誘致 **1件** (H28年)
過去10年間 (H19～H28)の
研究所立地件数 **8件** (全国5位)



HIOKIイノベーションセンター

- 東京からの本社機能移転認定 **4件**
(H27～H28年累計)

- プロフェッショナル人材戦略拠点による企業と県内外の人材マッチング
成約件数**40件** (H29年3月時点)



(3) 知の集積と教育の充実

- 「信州高等教育支援センター」の設置
(H28年4月)

県内大学の大学改革・
学部の設置を支援



信州高等教育支援センターの設置

- 長野県高等教育振興基本方針を策定
(H28年5月)

- 産学官の連携による
県内への人材定着の取組の推進

- 長野県立大学 (仮称) の開設に向けた準備の推進
(開学予定 平成30年4月)

Challenge your future



長野県立大学
THE UNIVERSITY OF NAGANO

- 県内大学の志願者数の増加

年度	志願者数	志願倍率
H28	12,266人	3.6倍
H29	15,592人	4.5倍

県内大学の魅力アップ!

- 産学官連携でインターンシップの
マッチングを実施 **62名**が参加
(H28年度)

- 県内企業の海外事業所で
のインターンシップへの
参加を支援 **8名**が参加
(H28年度)



(3) 知の集積と教育の充実

○信州学の推進

冊子「わたしたちの信州学」を作成し、全県立高等学校に配布



○教員のICT指導力向上研修を推進

○ICTを活用した確かな学力の育成を推進

○特別支援学校における教育用タブレット端末の整備

○高校におけるグローバル人材の育成

- ・スーパーグローバルハイスクール (SGH) 長野高校 (H26)、上田高校 (H27)
- ・未来塾ながの in the Philippines

○全ての高校で信州学を実施 (H28年度)

各校で地域の特性を踏まえ、工夫した取組を実施

取組例 (松本県ヶ丘高校)
「地方創生アイデアコンテスト2016」に参加し、地方創生大臣賞 (最優秀賞) 受賞



○教員ICT活用指導力の向上

授業中にICTを活用して指導する能力のある教員

H23 : 60.2% → H27 : 65.8%

全国73.5%(H27)水準へ更に取組を進める

○全普通教室への電子黒板・タブレットPC 1クラス分整備校

H27 : 0校 → H29 : 14校

○長野高校・上田高校において、グローバル化への先進事例となる研究を实践

○県内の高校生をフィリピン共和国へ20名派遣 (H28年度)

数値目標の進捗状況

*進捗区分 ●「A」: 目安値以上 ●「B」: 80%以上100%未満の進捗
●「C」: 80%未満の進捗 ●実績値なし: 今年度実績値が把握できない
・進捗割合 = (実績値 - 基準値) / (目安値 - 基準値) ・目安値: 各年の目標値

社会増減 (転入者数 - 転出者数)	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	H30年	目標 (H31年)
住民基本台帳移動報告 (総務省統計局) 【備考】 2025年での社会増減を0 (転入・転出均衡) とすることを旨とし、現状から社会減を均等に減少させる	目安値	人		▲3,400	▲3,000	▲2,700	▲2,400	▲2,000
	実績値		▲3,703	▲3,244	▲2,949			
	進捗区分			A	A			

進捗状況の分析

- 昨年に引き続き、社会減の減少幅は縮小し、目安値を上回りました。
- 引き続き、社会増への転換に向け、多様な人材の定着、産業イノベーションを誘発する企業や研究人材の誘致、高等教育の充実等の施策を推進します。

重要業績評価指標(KPI)の進捗状況

※進捗区分 ●「A」:目安値以上 ●「B」:80%以上100%未満の進捗
 ●「C」:80%未満の進捗 ●実績値なし:今年度実績値が把握できない
 ・進捗割合=(実績値-基準値)/(目安値-基準値) ・目安値:各年の目標値

指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
移住者数 (企画振興部調)	目安値	人		2,150	2,300	2,450	2,600	2,700
	実績値		2,000	1,386	2,084			
	進捗区分			C	C			
	現状分析・今後の取組	(現状分析) 市町村の受入体制の充実等により移住者数は増加したものの、目安値に達しませんでした。 (今後の取組) 引き続き、セミナーの開催や相談体制の充実を図るとともに、移住者数把握のための転入者向けのアンケート実施方法の工夫、市町村転入者窓口への依頼によるアンケート回収率の向上に取り組みます。						
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
移住相談件数 (企画振興部調)	目安値	件		7,065	7,558	8,051	8,544	9,000
	実績値		6,572	7,547	7,952			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) 引き続き相談体制の充実を図るほか、相談窓口の広報に取り組みます。						
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
地域おこし協力隊員数 (企画振興部調)	目安値	人		165	219	230	235	240
	実績値		112	205	280			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) 引き続き、隊員の活動ステージに応じた研修会を開催するほか、情報交換や相談等を行うサポート体制の構築により隊員の受入を支援します。						
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
週末信州人等登録者数 (企画振興部調)	目安値	人 (累計)		0	50	150	250	350
	実績値		—	—	13			
	進捗区分			実績値なし	C			
	【備考】 長野県内にも生活の拠点をおく県外住民数	現状分析・今後の取組	(現状分析) 潜在的な二地域居住希望者に対する効果的なアピール方法を試行錯誤している段階にあり、まだ結果が表れていない状況にあります。 (今後の取組) 広報を充実するとともに、二地域居住に対する協賛企業の提供サービス充実を図ることにより、本制度への登録を促進します。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
ふるさとテレワーカー数 (企画振興部調)	目安値	人		29	90	160	230	300
	実績値		—	56	124			
	進捗区分			A	A			
	【備考】 テレワークを活用して大都市等から移住するテレワーカー数	現状分析・今後の取組	(今後の取組) テレワークに取り組む市町村が増え、順調にテレワーカーの誘致が図られています。引き続き、市町村と連携し、セミナー開催等により普及展開に取り組みます。					

指標名	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	H30年	目標 (H31年)
企業立地件数 工場立地動向調査(経済産業省)	目安値	件 (累計)		40	80	120	160	200
	実績値		30	26	62			
	進捗区分			C	C			
	現状分析・今後の取組	(現状分析) 立地件数の全国順位は9位で、リーマンショック後では最高値となりましたが、実績値は目安値に達しませんでした。 (今後の取組) 今後成長が期待される産業分野やICT産業などに重点をおいた企業誘致に引き続き取り組みます。						
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	国の動向を踏まえ、H29年度末に目標を見直し予定	
税制優遇等を受け本社移転・拡充を行う企業数 (産業労働部調)	目安値	件 (累計)		3	10	17		
	実績値		—	3	7			
	進捗区分			A	C			
	現状分析・今後の取組	(現状分析) 県単優遇制度(助成金・減税)を創設し、積極的に取り組んできたものの、国の優遇制度の対象企業数が全国でも15件(H28年)に留まっており、目安値に達しませんでした。 (今後の取組) 平成29年度末までの制度であるため、市町村・金融機関と連携しながら引き続き本社・研究所等の誘致を強力に進めます。						
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
プロフェッショナル人材戦略拠点による人材のコーディネート件数 (産業労働部調)	目安値	件 (累計)		10	60	110	160	210
	実績値		—	58	316			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) 金融機関、民間団体、民間ビジネス事業者と連携し、県内企業の求人ニーズを掘り起こし、引き続き首都圏等の求職者と県内企業とのマッチングに取り組みます。						
指標名	年度	単位	基準値 (H27年度)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標 (H32年度)
県内大学の収容力 学校基本調査(文部科学省)	目安値	%		16.3	16.3	18.0	18.0	18.0
	実績値		16.3	16.5	17.0			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) 引き続き、新たな大学・学部・大学院の新設を支援するとともに、長野県で学ぶ魅力を県内外に発信します。						
指標名	年度	単位	基準値 (H27年度)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標 (H32年度)
県内私立大学の定員充足率 (県民文化部調)	目安値	%		98.4	98.8	99.2	99.6	100.0
	実績値		98.0	101.9	102.7			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) 引き続き、長野県で学ぶ魅力を県内外に発信します。						

指標名	年度	単位	基準値 (H27年度)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標 (H32年度)
県内専門学校の定員充足率 (県民文化部調)	目安値	%		56.3	57.2	58.2	59.1	60.0
	実績値		55.4	54.2	55.1			
	進捗区分			C	C			
	現状分析・今後の取組		(現状分析) 商業実務、文化・教養の分野で入学者が増加したものの、高い定員充足率を維持してきた医療分野が減少したことから、全体として目安値に達しませんでした。 (今後の取組) 定員充足率が低い水準にあることから、マスメディアの活用機会を増やすなど県内専門学校の魅力の発信に取り組みます。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
県内大学卒業生の県内就職率 (県民文化部調)	目安値	%		58.7	60.3	61.8	63.4	65.0
	実績値		57.1	56.0	55.9			
	進捗区分			C	C			
	現状分析・今後の取組		(現状分析) 県外出身者が多く在籍する大学等において、卒業生の県内就職率が低下したことから、目安値に達しませんでした。 (今後の取組) 平成28年度に取組を始めた産学官連携インターンシップマッチング事業など、長野県で就職することに対して魅力を感じてもらえる取組を一層促進します。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
県内専門学校卒業生の県内就職率 (県民文化部調)	目安値	%		87.8	88.3	88.9	89.4	90.0
	実績値		87.2	81.6	84.2			
	進捗区分			C	C			
	現状分析・今後の取組		(現状分析) 看護、福祉など資格養成を目的とする専門学校は高い県内就職率を維持していますが、衛生、文化・教養、商業実務分野での県内就職率が下がり、全体として目安値に達しませんでした。 (今後の取組) 「職業実践専門課程」の認定促進や、長野県で暮らし、働く魅力の発信を関係部局が連携して行うことなどにより学生の県内企業への関心を高め、県内就職率の向上を図ります。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
産学官の連携による取組数 (県民文化部調)	目安値	件		296	296	296	296	維持・向上
	実績値		296	290	325			
	進捗区分			C	A			
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 引き続き、産学官連携による県内大学の教育研究の充実を促進します。					

指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
県内大学生のインターンシップ参加率 (県民文化部調)	目安値	%		24.3	28.2	32.2	36.1	40.0
	実績値		20.4	17.5	22.8			
	進捗区分			C	C			
	現状分析・今後の取組		(現状分析) 産学官連携によるインターンシップ・マッチング事業を平成28年度から開始したことにより、平成27年度に比べ、大幅にインターンシップ参加率は上がりましたが、目安値には達しませんでした。 (今後の取組) 引き続き、産学官連携マッチング事業や海外インターンシップ支援事業などを通じインターンシップの機運を高めるとともに、関係者と連携し、参加しやすい環境を整えます。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
全国学力・学習状況調査正答率の全国平均との差(小学校) 全国学力・学習状況調査(文部科学省)	目安値	ポイント		+0.9	+1.1	+1.2	+1.4	+1.5
	実績値		+0.8	+0.4	+0.5			
	進捗区分			C	C			
	現状分析・今後の取組		(現状分析) 各校において指導の改善に取り組んでいるため、実績は昨年度よりも0.1ポイント向上しているものの、目安値には達しませんでした。 (今後の取組) 「授業がもっとよくなる3観点※」に基づき、児童が確実に学力を身につけられるような授業の実現に向けた支援を進めます。 ※ねらいを明確にする・めりはりをつける・ねらいの達成を見とどける					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
全国学力・学習状況調査正答率の全国平均との差(中学校) 全国学力・学習状況調査(文部科学省)	目安値	ポイント		▲0.5	▲0.3	+0.0	+0.2	+0.5
	実績値		▲0.8	▲0.6	▲0.2			
	進捗区分			C	A			
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 引き続き、「授業がもっとよくなる3観点」に基づき、生徒が確実に学力を身につけられるような授業の実現に向けた支援を進めます。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
信州学を実施する県立高校の割合 (教育委員会事務局調)	目安値	%		0.0	85.0	100.0	100.0	100.0
	実績値		—	3.5	100			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 全高校が、これまでの取組も踏まえ、地域に根ざした探究的学びの観点から実施しました。今後はホームページを開設するなど情報発信と普及に努めます。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
県内高校卒業者(新卒)の県内就職率 学校基本調査(文部科学省)	目安値	%		91.3	91.3	91.3	91.3	維持・向上
	実績値		91.3	91.2	90.7			
	進捗区分			C	C			
	現状分析・今後の取組		(現状分析) 学校におけるキャリア教育の成果により、県外を含む就職内定率は、ここ数年の中でも高い数値となっていますが、県外就職者が微増傾向にあるため、県内就職率は横ばい傾向です。 (今後の取組) 就職指導の更なる充実と、未内定者数の減少及び就職率の向上に向けた働きかけを行います。					

指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
信州型コミュニティスクールの 実施割合(小・中学校) (教育委員会事務局調)	目安値	%		50.0	75.0	100.0	100.0	100.0
	実績値		36.5	67.6	93.8			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 制度の理解が順調に進み、目安値を大きく上回っていますが、取組の 底上げや運営の充実を目指す市町村への信州型CSアドバイザーの 派遣、コーディネーター研修の参加促進等、重点的な支援を進めま す。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
地域の行事に参加する児童(小 学校)の割合 全国学力・学習状況調査(文部科学 省)	目安値	%		89.9	89.9	89.9	89.9	維持・向上
	実績値		89.9	90.1	89.8			
	進捗区分			A	B			
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 引き続き、地域と連携を深め、子どもたちが郷土を愛し、愛着をもてる よう、地域教材や地域人材の活用について指導する等の取組を進め ます。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
地域の行事に参加する生徒(中 学校)の割合 全国学力・学習状況調査(文部科学 省)	目安値	%		63.7	63.7	63.7	63.7	維持・向上
	実績値		63.7	65.7	64.5			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 引き続き、地域と連携を深め、子どもたちが郷土を愛し、愛着をもてる よう、地域教材や地域人材の活用について指導する等の取組を進め ます。					